

【はじめに】

本機能設定表は盤面でデータベース設定を行う場合に記入して大切に保管してください。また、DBTOOLを使用する場合は、DBTOOLで設定したデータを印刷して大切に保管してください。リニューアルや基板交換時に設定した内容の確認が必要となります。

なお、本受信機を使用するにはデータベースの設定以外にジャンパーピンの設定も必要です。（TM10861「遮断スイッチ設定表／接点、ジャンパーピン構成図」を参照）

注意1：各項目の○付数字は盤面データーベース設定時のLCD表示の項目番号を示します。

注意2：本紙には盤面データベースのデフォルト設定を記入しております。記載されている○や番号を斜線などで取り消して、○で囲みなおしたり、新たに番号を記載してください。

1. システム設定

1-1. 地区音響逐次鳴動時間(TA) ⑪

2分 / 3分 (標準) / 4分 / 5分 / 6分 / 7分 / 8分

1-2. 地区音響拡大警報時間(TC) ⑪

無 / 4分 (標準) / 5分 / 6分 / 7分 / 8分 / 9分 / 10分

1-3. 発信機入力(A)による消火栓始動(H-HC)の連動 ⑫※1

連動あり (標準) / 連動なし (※2)

※1：「8.連動設定」→「消火栓連動設定」→「発信機(A)」

※2：消火栓バルブにより、消火栓始動(H-HC)の連動を行う場合は、「連動なし」に設定し、4項、5項で設定して下さい。

1-4. 非常放送連動(ヘルカット)回路(EB±)断線・短絡監視設定 ⑫

終端器なし (標準) / 終端器あり (非常放送使用時) (※1)

※1：有りの場合、コネクタケーブルと非常放送終端器のセット品（別手配）が必要です。

1-5. スイッチ操作音 有り／無し設定 ⑫

有り (標準) / 無し

1-6. 相互電話回路設定

無し (標準) / 有り (※1)

※1：有りの場合、別途ジャンパー設定と4.「オプションスイッチ設定」が必要です。

1-7. メッセージ表示機設定 ⑫

接続台数	0	台 (0～31を記入)
通信速度	9600bps (標準) / 1200bps	

1-8. HOST設定 ⑫

通信速度	38400bps (標準) / 19200bps / 9600bps
異常検出	無し (標準) / 有り

注) 通常は使用しません。

1-9. 防排煙復帰回線設定 ⑬

自動設定 (※1)	0	回線
自由設定		

注) 防排煙復帰回線を使用する場合は、自動設定または自由設定に○を付けてください。

また、5項にて防排煙復帰付起動回線と防排煙復帰付復帰回線のペアを記入してください。

※1：自動設定の場合は回線数を記入してください。

1-10. 防排煙順次起動設定 ⑬

同時制御回線数	2	回線
応答故障時間		
起動	10 / 20 / 30 (標準) / 40 / 50 / 60 秒	
復帰	1 (標準) / 2 / 3 / 4 / 5 分	

注) 5項で対象回線を選択してください。（本設定だけでは、設定内容は有効にはなりません）

対象回線設定：「16.防排煙順次起動」→「回線設定」

1-11. ガスもれ 非保持／保持設定 ⑫

非保持 (標準) / 保持

2. オプションスイッチ設定（遮断・連動設定含む）

・いずれかに○

・遮断の場合は6項で遮断スイッチ番号の記入も必要

任意記載

・スイッチを押した時に連動させる場合のみ記載して下さい。（用途が「遮断」の場合は記入不要）

・F1～F65(移報出力)、D/DR6～D/DR40(防排煙出力（起動/復帰）)、S1～S100（P型インターフェイス盤の外移報出力）などの連動先端子名を記載して下さい。

OP SW 番号	用途 ⑫	スイッチ名称	連動先 ⑫ ※最大32点まで
OP1	遮断 / ノロック / ロック	エレベータ遮断	
OP2	遮断 / ノロック / ロック	機械警備遮断	
OP3	遮断 / ノロック / ロック	排煙機停止	F4
OP4	遮断 / ノロック / ロック		
OP5	遮断 / ノロック / ロック		

遮断スイッチとして使う場合、本項での「連動先」の設定は不要です。

その場合、「地区別移報の遮断スイッチ番号」の設定が必要となるので「6.移報出力回線設定」で遮断スイッチ（OPSW番号など）を設定してください。

3. ステータス回線設定（連動設定含む）

F1～F65(移報出力)、S1～S100（P型インターフェイス盤の外移報出力）
などの連動先端子名を記載して下さい。

例

No.	受信機 ステータス名称	連動先 ② ※最大32点まで	出力要因
1	火災代表	F1, F2, F3, F4, F5	火災発生時に出力します。設備区分「火災」回線の発報時で連動用感知器の発報は含みません。
2	表示機音響	F3	地区窓表示機/部屋番号表示機の音響端子への移報用です。 表示機音響設定を有にした回線の入力時に出力します。（保守音響停止中は出力されません）

注意！！
F1～F5を火災代表以外で使用する場合は、
初期設定を解除してから使用してください。

1	火災代表	F1, F2, F3, F4, F5	火災発生時に出力します。設備区分「火災」回線の発報時で連動用感知器の発報は含みません。
2	表示機音響		地区窓表示機/部屋番号表示機の音響端子への移報用です。 表示機音響設定を有にした回線の入力時に出力します。（保守音響停止中は出力されません）
3	火災確認信号		感知器第2報発報、発信機作動時に出力します。
4	連動用感知器代表		3種回線の感知器発報時に出力します。 設備区分「防排煙」「防排煙復帰付起動」回線の入力により連動感知器灯が点灯した場合に出力します。
5	防排煙応答代表		防排煙応答入力がある場合に出力します。
6	諸警報代表		諸警報設定の入力がある場合に出力します。
7	ガスもれ代表		ガスもれ発生時に出力します。
8	警報音代表		受信機の警報音が鳴動する要因発生時に出力します。（音響および地区音響停止中でも出力します。蓄積、 電話呼出音、音響無し設定のもの、保守地区音響停止中音響は含みません）
9	異常代表		異常灯の点滅時に出力します。交流電源断(AC100Vが断した場合)は含みません。 平常時はa接側が閉じています。
10	スイッチ注意		スイッチ操作時に出力します。個別遮断中、一括遮断中に出力します。 (遮断設定のオプションSWも含む)(スイッチ注意灯の点滅時)
11	遮断中代表		個別遮断中、一括遮断中に出力します。（遮断設定のオプションSWも含む）
12	試験中代表		試験スイッチ操作中に出力します。
13	主電源断（停電）		AC100Vが断した場合(停電時)に出力されます。平常時はa接点が閉じています。
14	非常放送中		受信機の非常放送灯点灯中(EB±がON中)に出力します。
15	発信機代表		発信機応答灯制御時に出力します。
16	復旧出力		復旧スイッチ操作時や蓄積復旧時などの復旧処理中に1秒間出力します。
17	地区音響停止中		地区音響停止中に出力します。（非常放送入力中の地区音響自動停止は含まれません）
18	地区音響一斉鳴動		地区音響一斉鳴動時（火災第2報発報、発信機作動、一斉鳴動スイッチ押下、拡大警報タイムアップ時）に 出力します。（地区音響一時停止中、保守地区音響停止中も出力します）
19	地区音響鳴動中		地区音響鳴動中に出力します。（地区音響一時停止中、保守地区音響停止中は停止します）

4. 入力回線設定（LX）、消火栓入力設定（HL/HV）（連動設定含む）

- ・階情報：任意記載
・保持/非保持：保持回線に○
・音響：鳴動しない回線に×
・音声：鳴動しない回線に×（音声のみ有りは不可）
・地区窓表示機音響：出力する回線に○
・メッセージ表示機：出力する回線に○
・消火栓始動：出力する回線に○（HL/HVは対象外）
- ・F1～F65(移報出力)、D/DR6～D/DR40(防排煙出力（起動/復帰））、S1～S100（P型インターフェイス盤の外移報出力）
などの連動先端子名を記載して下さい。

例

L X 回線は諸警報に固定		任意記載				などの連動先端子名を記載して下さい。				消火栓始動：出力する回線に○（HL/HVIは対象外）			
回線番号	設備区分 ②	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先 ② ※最大32点まで	階情報	保持/非保持 ②	音響 ②	音声 ②	地区窓表示機音響 ②	メッセージ表示機 ②	消火栓始動 ②	
LX1	諸警報	消 火 ポ ン プ	故 障		F40					○			
LX2	諸警報	業 務 ガ ス 遮 断 弁	閉 鎖					×	×	×			
LX3	諸警報	消 火 栓 バ ル ブ	開 放		F41					○		○	

LX1	諸警報											
LX2	諸警報											
LX3	諸警報											
LX4	諸警報											
LX5	諸警報											
HL/ HV	消火栓入力											

5. 入力回線設定（L/DA）（連動設定含む）

■設定内容詳細

【設備区分とは】

回線毎に設備区分「火災」「諸警報」「防排煙」「防排煙起動」「防排煙復帰」の設定を行い、各設備区分に応じた動作を行います。火災回線は「火災」「諸警報」、防排煙回線は「火災」「諸警報」「防排煙」「防排煙起動」「防排煙復帰」の設定が可能です。
なお、諸表示回線（LX）は「諸警報」、ガスもれ回線（GL）は「ガスもれ」、消火栓入力（HL/HV）は「消火栓入力」に固定されます。

【防排煙起動復帰ペアとは】

防排煙復帰付回線を使用する場合に、起動回線と復帰回線のペアを記入します。
防排煙復帰付回線の設定方法は以下の二通りがあります。
①自動設定（「1. システム設定」で復帰回線数の記入が必要です）
防排煙回線の末端側から順に防排煙復帰回線になります。また、防排煙復帰回線の直前の防排煙回線が、防排煙復帰回線と同じ数だけ防排煙起動回線になります。
②自由設定
防排煙起動回線と防排煙復帰回線のペア設定を自由に行えます。
<使用例>
・防排煙（D）：防火戸など復帰が無いタイプ：L/D/DAを使用
・防排煙起動（DD）：防火ダンパ、排煙口など復帰があるタイプで起動側の回線：D/DAを使用
・防排煙復帰（DR）：防火ダンパ、排煙口など、復帰があるタイプで復帰側の回線：DRとしてDを使用

【自動連動階とは】

地区音響、非常放送の自動連動設定を行う場合に設定します。
設定対象は火災回線のみです。
自動連動設定では、火災回線に設定された自動連動階情報をもとに、地区音響（出火階・直上階）、非常放送（階ごとに1出力）の連動設定を自動で行います。

【終端設定とは】

以下の例のように20回線ごとに接続する終端機器に合わせて「10kΩ」、「20kΩ」、「CRE」（コンデンサ式終端器）のいずれかを選択します。
なお、終端機器の選択は20回線単位（回線単位は不可）です。
（例）
L1～20（PSU基板）：10kΩ
L21～40（FLU基板）：20kΩ
L41～60（FLU基板）：20kΩ

【地区窓表示機音響について】

本機は表示機音響の専用端子がないため、Fn接点1点を表示機音響用として使用し、出力要因をステータス要因「表示機音響出力」に設定してください。

【消火栓連動について】

発信機入力（A）だけでなく、消火栓バルブ開放の入力により、消火栓移報端子H－HCへの連動設定が可能です。
（設備区分が「防排煙」「諸警報」の場合のみ。）

【順次起動について】

順次起動の対象回線を設定します。
注）「1.システム設定」で防排煙順次起動設定を行ってください。

■記入方法

【設備区分】

「火災」、「諸警報」、「防排煙」、「防排煙起動」、「防排煙復帰」からいずれかを記入

【防排煙起動復帰ペア】

起動回線、復帰回線にペア番号（1～）を記入

【種別名称、状態文字、オプションメッセージ】

任意記入
種別名称、状態文字、オプションメッセージは、DBT00Lでのみ入力が可能です。

【連動先】

・F1～F125(移報出力)、D6～D100(防排煙出力)、S1～S100（P型インターフェイス盤の外移報出力）などの連動先端子名を記入
・防排煙回線で、DA入力（端末応答入力）で連動する場合は連動先番号に○をつけてください。

【自動連動階】※設備区分が「火災」の回線のみ

自動連動設定を行う場合に記入
・地下階の場合：B1F～B5F
・地上階の場合：01F～20F
・その他：RF（屋上）、ST（階段）、EV（エレベータ）、ES（エスカレータ）

【階情報】

任意入力の階情報（メモ）を記入

【空き回線】

空き回線に○を記入

【蓄積解除】

蓄積解除回線に○を記入

【蓄積音響無】

蓄積音響無無回線に○を記入

【諸警報保持/非保持】※設備区分が「諸警報」の回線のみ

諸警報保持回線に○を記入

【終端設定】※設備区分が「火災/防排煙/防排煙(起動)」のみ

「10kΩ」「20kΩ」「CRE」のいずれかに○を記入

【音響・音声】※設備区分が「諸警報/防排煙/防排煙起動」のみ

・鳴動しない回線に×を記入
・音声のみ有りは不可

【地区窓表示機音響】

地区窓表示機音響出力する回線に○を記入
注）音響設定を「×」にしている回線は出力できません。

【メッセージ表示機】

メッセージ表示機出力する回線に○を記入
注）「1.システム設定」でメッセージ表示機の接続台数を1台以上に設定してください。
接続台数が0台の場合、出力要因設定ができません。

【消火栓始動】

・火災回線で設備区分が「諸警報」の場合：Lのみ○
・防排煙回線で設備区分が「諸警報」の場合：L、DAに○
・防排煙回線で設備区分が「防排煙」、「防排煙起動」の場合：DAのみ○

【順次起動】※設備区分が「防排煙/防排煙起動/防排煙復帰」のみ

順次起動対象回線に○を記入
注）「1.システム設定」で防排煙順次起動設定を行ってください。

つけてください。

例
(15回線型)

火災回線

防排煙回線

ステータス連動（火災代表移報など）は、3項のステータス回線設定に記載してください。
なお、デフォルトでF1～F5に火災代表が設定されています。

【例】泡消火放出の入力で、ベルを鳴動させる方法
①諸警報（回線番号9）にて泡消火放出力
②諸警報（回線番号9）入力で移報出力（F2）に連動
③移報出力（F2）を火災（回線番号10）に入力し、RBKLリレーが作動してベル鳴動

【例】防排煙復帰回線の自動設定で回線数を2回線とした場合
防排煙回線の末端から順に「防排煙復帰」が決まり、「防排煙起動」回線が自動で1対1で設定される。

地区音響

L10に火災を入力する

表示機のInへ移報

DA入力（端末応答入力）で連動する場合は連動先番号にOを付けて下さい。

回線番号	設備区分②	防排煙起動復帰ペア①	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先② ※最大32点まで	自動連動階②	階情報	空き回線⑥	蓄積解除⑫	蓄積音響無③	諸警報保持/非保持⑭	終端設定⑤	音響③		音声③		地区窓表示機音響⑨		メッセージ表示機⑨	消火栓始動⑩		順次起動⑬
														L	DA	L	DA	L	DA		L	DA	
1	火災				地下1階	F6, F7	F26	B1F					(10kΩ / 20kΩ / CRE)					○					
2	火災		【例】泡消火放出の入力で、ベルを鳴動させる方法 ①諸警報（回線番号9）にて泡消火放出力 ②諸警報（回線番号9）入力で移報出力（F2）に連動 ③移報出力（F2）を火災（回線番号10）に入力し、RBKLリレーが作動してベル鳴動		1階	F6, F7, F8	F27	1F											○				
3	火災				2階 客室	F8, F9	F28	2F											○				
4	火災				3階 客室	F9	F29	3F											○				
5	火災 諸警報				他棟 火災		F30												○				
6	防排煙		防火戸シャッター	閉鎖	1階 管理室前	D6	F31	1F											○				
7	防排煙		排煙口	開放	1階 共用部	D8	F32	1F											○				
8	防排煙 諸警報		排煙機	運転	3階 機械室		F33	3F											○				
9	防排煙 諸警報		泡消火	放出	地下1階 駐車場	F6, F7, F2	F34	B1F											○				
10	防排煙 火災		泡消火	放出代表	地区音響RBKLリレー起動																		
11	防排煙 諸警報		消火栓バルブ	開放	バルブ開放代表		F35												○		○	○	
12	防排煙起動	14	防火ダンパ1階	閉鎖			F36												○				
13	防排煙起動	15	防火ダンパ2階	閉鎖			F37												○				
14	防排煙復帰	12	【例】防排煙復帰回線の自動設定で回線数を2回線とした場合 防排煙回線の末端から順に「防排煙復帰」が決まり、「防排煙起動」回線が自動で1対1で設定される。																				
15	防排煙復帰	13																					

FCSGJタイプ 火災、防排煙、ガスもれ回線の内訳	
回線	設備区分
15	火災：1～5L、防排煙：6～10L、ガスもれ：GL1～5L
30	火災：1～10L、防排煙：11～20L、ガスもれ：GL1～10L
40	火災：1～10L、防排煙：11～30L、ガスもれ：GL1～10L
50	火災：1～20L、防排煙：21～40L、ガスもれ：GL1～10L

注意！！

盤面DB設定でF1～F5を連動先に設定する場合、デフォルト設定でF1～F5が下記①、②の状態になっているため設定を解除してから連動設定を行って下さい。
①ステータス「火災代表」に設定されている
②OP1～OP5に1対1で遮断スイッチに設定されている

また、盤面DB設定では、防排煙回線のL入力に対してD出力が1対1で組まれています。受信機の回線数ごとの火災回線、防排煙回線の内訳はページ上部の表を参照ください。
なお、DBTOOLで設定を行った場合はいずれも設定されて無い状態となります。

回線 番号	設備区分	防排煙 起動 復帰 ペア	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	連動先 ※最大32点まで	自動 連動階	階 情報	空き 回線	蓄積 解除	蓄積 音響 無	諸警報 非保持	終端設定	音響		音声		地区窓表示機 音響		メッセ-ジ 表示機	消火栓始動		順次 起動
														L	DA	L	DA	L	DA		L	DA	
1													10kΩ / 20kΩ / CRE										
2																							
3																							
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
11													10kΩ / 20kΩ / CRE										
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
21																							
22																							
23																							
24																							
25																							
26																							
27																							
28																							
29																							
30																							
31																							
32																							
33																							
34																							
35																							
36																							
37																							
38																							
39																							
40																							

例

F1～F65(移報出力)、S1～S100 (P型インターフェイス盤の外移報出力) から連動先端子名を記載して下さい

- 「ガスもれ」固定

表示機のlnへの移報

5/14

7. 移報出力回線設定 (F)

・「遮断」スイッチを設定する場合、OP 1～5 または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。
・地区音響の場合（F 6～F 2 5）は、ジャンパー設定により「館内の音を止める」スイッチ（地区音響停止が有効になるので記入不要。

例

基板		端子 名称	コモン	任意記載	移報先	遮断スイッチ 番号	遮断スイッチ 番号、名称を記入	任意記載	オプションメッセージ	階 情報	任意記載	連動要因 ⑧
PSU		BKF	BKC		地区音響		館内のベル音を止める					
	F1	F1C			エレベータ	OP 1	エレベータ遮断	火災代表				火災代表
	F2	F2C			機械警備	P 2	機械警備遮断	火災代表				火災代表
	F3	F3C			表示機音響	OP 3 4	表示機遮断					火災代表 表示機音響
	F4	F4C			空調機	OP 4 3	空調機遮断	火災代表				火災代表
	F5	F5C			中央監視	OP 5	中央監視遮断	異常代表				火災代表 異常代表
	F6	FNC 1			地区音響	OP	館内のベル音を止める	地下 1 階		B 1 F		L1, L2
	F7				地区音響	OP	館内のベル音を止める	1 階 客室		1 F		L1, L2, L3
	F8				地区音響	OP	館内のベル音を止める	2 階 客室		2 F		L3, L4
	F9				地区音響	OP	館内のベル音を止める	3 階 客室		3 F		L4, L5
	F10				地区音響	OP	館内のベル音を止める	4 階 客室		4 F		L5, L6
	F11	FNC 2			地区音響	OP	館内のベル音を止める	5 階 客室		5 F		L6, L7
	F12				地区音響	OP	館内のベル音を止める	6 階 客室		6 F		L7, L8
	F13				地区音響	OP	館内のベル音を止める	階段		S T		L9
	F14				地区音響		る					
	F15				地区音響		る					
	F16	FNC 3			表示機			火災 地下 1 階		B 1 F		L1
	F17				表示機			火災 1 階 客室		1 F		L2
	F18				表示機	OP 4	表示機遮断	火災 2 階 客室		2 F		L3
	F19				表示機	OP 4	表示機遮断	火災 3 階 客室		3 F		L4
	F20				表示機	OP 4	表示機遮断	火災 4 階 客室		4 F		L5
	F21	FNC 4			表示機	OP 4	表示機遮断	火災 5 階 客室		5 F		L6
	F22				表示機	OP 4	表示機遮断	火災 階段		S T		L7
	F23				表示機	OP 4	表示機遮断	シャッター 1 階 管理室				DA11
	F24				表示機	OP 4	表示機遮断	防火戸 2 階 共用部				DA12
	F25				表示機	OP 4	表示機遮断	泡消火放出				L10

注意！！
・ R O U 基板は、連動設定を行った回線番号の基板枚数まで基板の伝送異常を監視します。
（基板枚数の設定は不要です。）

・「遮断」スイッチを設定する場合、OP 1～5または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。
・地区音響の場合（F 6～F 2 5）は、ジャンパー設定により「館内の音を止める」スイッチ（地区音響停止が有効になるので記入不要。

L1～L40（火災入力）、DA6～DA40（防排煙応答入力）、GL1～10（ガスもれ入力）、LX1～LX5（諸表示入力）、HL/HV（消火栓入力）、OP1～OP5（オプションスイッチ入力）、ステータス連動要因から連動要因名を記載してください。

基板	端子 名称	コモン	移報先	遮断スイッチ	遮断スイッチ	オプションメッセージ	階 情報	連動要因 ㊟
				遮断スイッチ 番号㊟				
P S U	BKF	BKC	地 区 音 響		館 内 の 音 を 止 め る			
	F1	F1C		OP 1				火災代表
	F2	F2C		OP 2				火災代表
	F3	F3C		OP 3				火災代表
	F4	F4C		OP 4				火災代表
	F5	F5C		OP 5				火災代表
	F6	FNC 1		OP				
	F7			OP				
	F8			OP				
	F9			OP				
	F10			OP				
	F11	FNC 2		OP				
	F12			OP				
	F13			OP				
	F14			OP				
	F15			OP				
	F16	FNC 3		OP				
	F17			OP				
	F18			OP				
	F19			OP				
	F20			OP				
	F21	FNC 4		OP				
	F22			OP				
	F23			OP				
	F24			OP				
	F25			OP				
R O U 1 枚 目	F26	FNC 5		OP				
	F27			OP				
	F28			OP				
	F29			OP				
	F30			OP				
	F31	FNC 6		OP				
	F32			OP				
	F33			OP				
	F34			OP				
	F35			OP				
	F36	FNC 7		OP				
	F37			OP				
	F38			OP				
	F39			OP				
	F40			OP				
	F41	FNC 8		OP				
	F42			OP				
	F43			OP				
	F44			OP				
	F45			OP				

- ・「遮断」スイッチを設定する場合、OP 1～5 または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。
- ・地区音響の場合（F 6～F 2 5）は、ジャンパー設定により「館内の音を止める」スイッチ（地区音響停止が

L1~L40 (火災入力)、DA6~DA40 (防排煙応答入力)、GL1~10 (ガスもれ入力)、LX1~LX5 (諸表示入力)、HL/HV (消火栓入力)、OP1~OP5 (オプションスイッチ入力)、ステータス連動要因から連動要因名を記載してください。

			任意記載		遮断スイッチ番号、名称を記入		任意記載		任意記載		UP1～UP5（オプションスイッチ入力）、ステータス連動要因から連動要因名を記載してください。	
基板	端子名称	コモン	移報先	遮断スイッチ番号⑩	遮断スイッチ	オプションメッセージ	階情報	連動要因 ②				
R O U 2 枚 目	F46	FNC 9		OP								
	F47			OP								
	F48			OP								
	F49			OP								
	F50			OP								
	F51	FNC 10		OP								
	F52			OP								
	F53			OP								
	F54			OP								
	F55			OP								
	F56	FNC 11		OP								
	F57			OP								
	F58			OP								
	F59			OP								
	F60			OP								
	F61	FNC 12		OP								
F62			OP									
F63			OP									
F64			OP									
F65			OP									

8. 移報出力回線設定（S）

「遮断」スイッチを設定する場合、OP1～5または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。

任意記載

遮断スイッチ番号、名称を記入

任意記載

任意記載

L1～L40（火災入力）、DA6～DA40（防排煙応答入力）、GL1～10（ガスもれ入力）、LX1～LX5（諸表示入力）、HL/HV（消火栓入力）、OP1～OP5（オプションスイッチ入力）、ステータス連動要因から連動要因名を記載してください。

基板	端子名称	コモン	移報先	遮断スイッチ	オプションメッセージ	階情報	連動要因 ㊟
SOU 1枚目	S1	SNC1	表示機	遮断スイッチ番号㊟ OP	地下1階 駐車場	B 1 F	L1
	S2		表示機	OP	1階 管理室 共用部	1 F	L2
	S3		表示機	S1～は地区音響（有電圧）として使用できません。（無電圧限定） 非常放送などで使用する場合、コモンのジャンパー設定はJPS1～3を設定して下さい。	1 0 1 ～ 1 0 8	1 F	L3
	S4		表示機		2 0 1 ～ 2 0 8	2 F	L4
	S5		表示機		OP	階段	K 0 1
	S6	SNC2	非常放送	OP 非 非常放送	地下1階	B 1 F	L1
	S7		非常放送	OP 非 非常放送	1階	1 F	L2, L3
	S8		非常放送	OP 非 非常放送	2階 客室	2 F	L4, L5
	S9		非常放送	OP 非 非常放送	3階 客室	3 F	L6, L7
	S10		非常放送	OP 非 非常放送	階段	K 0 1	L8

注意！！
・SOU基板は、連動設定を行った回線番号の基板枚数まで基板の伝送異常を監視します。
（基板枚数の設定は不要です。）

「遮断」スイッチを設定する場合、OP1～5または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。

任意記載

遮断スイッチ番号、名称を記入

任意記載

任意記載

L1～L40（火災入力）、DA6～DA40（防排煙応答入力）、GL1～10（ガスもれ入力）、LX1～LX5（諸表示入力）、HL/HV（消火栓入力）、OP1～OP5（オプションスイッチ入力）、ステータス連動要因から連動要因名を記載してください。

基板	端子名称	コモン	移報先	遮断スイッチ	オプションメッセージ	階情報	連動要因 ㊟
SOU 1枚目	S1	SNC1		遮断スイッチ番号㊟ OP			
	S2			OP			
	S3			OP			
	S4			OP			
	S5			OP			
	S6	SNC2		OP			
	S7			OP			
	S8			OP			
	S9			OP			
	S10			OP			
	S11	SNC3		OP			
	S12			OP			
	S13			OP			
	S14			OP			
	S15			OP			
	S16	SNC4		OP			
	S17			OP			
	S18			OP			
	S19			OP			
	S20			OP			

「遮断」スイッチを設定する場合、OP 1～5または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。

任意記載

遮断スイッチ番号、名称を記入

任意記載

任意記載

L1～L40（火災入力）、DA6～DA40（防排煙応答入力）、GL1～10（ガスもれ入力）、LX1～LX5（諸表示入力）、HL/HV（消火栓入力）、OP1～OP5（オプションスイッチ入力）、ステータス連動要因から連動要因名を記載してください。

基板	端子 名称	コモン	移報先	遮断スイッチ	オプションメッセージ	階 情報	連動要因 ㊟
S O U 2 枚 目	S21	SNC 5		OP			
	S22			OP			
	S23			OP			
	S24			OP			
	S25			OP			
	S26	SNC 6		OP			
	S27			OP			
	S28			OP			
	S29			OP			
	S30			OP			
	S31	SNC 7		OP			
	S32			OP			
	S33			OP			
	S34			OP			
	S35			OP			
	S36	SNC 8		OP			
S37			OP				
S38			OP				
S39			OP				
S40			OP				
S O U 3 枚 目	S41	SNC 9		OP			
	S42			OP			
	S43			OP			
	S44			OP			
	S45			OP			
	S46	SNC 10		OP			
	S47			OP			
	S48			OP			
	S49			OP			
	S50			OP			
	S51	SNC 11		OP			
	S52			OP			
	S53			OP			
	S54			OP			
	S55			OP			
	S56	SNC 12		OP			
S57			OP				
S58			OP				
S59			OP				
S60			OP				

「遮断」スイッチを設定する場合、OP 1～5または「火」（火災代表）、「非」（非常放送）、「消」（消火栓）、「防」（防排煙代表）を記入する。

任意記載

遮断スイッチ番号、名称を記入

任意記載

任意記載

L1～L40（火災入力）、DA6～DA40（防排煙応答入力）、GL1～10（ガスもれ入力）、LX1～LX5（諸表示入力）、HL/HV（消火栓入力）、OP1～OP5（オプションスイッチ入力）、ステータス連動要因から連動要因名を記載してください。

基板	端子 名称	コモン	移報先	遮断スイッチ	オプションメッセージ	階 情報	連動要因 ㊟
S O U 4 枚 目	S61	SNC 13		OP			
	S62			OP			
	S63			OP			
	S64			OP			
	S65			OP			
	S66	SNC 14		OP			
	S67			OP			
	S68			OP			
	S69			OP			
	S70		OP				
	S71	SNC 15		OP			
	S72			OP			
	S73			OP			
	S74			OP			
	S75		OP				
	S76	SNC 16		OP			
S77			OP				
S78			OP				
S79			OP				
S80			OP				
S O U 5 枚 目	S81	SNC 17		OP			
	S82			OP			
	S83			OP			
	S84			OP			
	S85			OP			
	S86	SNC 18		OP			
	S87			OP			
	S88			OP			
	S89			OP			
	S90		OP				
	S91	SNC 19		OP			
	S92			OP			
	S93			OP			
	S94			OP			
	S95			OP			
	S96	SNC 20		OP			
S97			OP				
S98			OP				
S99			OP				
S100			OP				

9. AND連動設定



任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
1	DA21	防排煙	特選排煙口	開放		1F	D30(排煙機)
	DA22	防排煙	特選給気口	開放		1F	
2	L1	火災			火災(煙)		F1(ハロン制御盤)
	L2	火災			火災(熱)		
3	L3	火災			1棟火災(ステータス発信機)		F2(消火ポンプ)
	L4	火災			2棟火災(ステータス発信機)		

【連動要因について】

以下の連動要因から設定可能です。

- ・火災 (L)
- ・諸警報 (LX,L,DA)
- ・防排煙 (L/DA)
- ・ガスもれ (GL)
- ・消火栓入力 (HL/HV)
- ・ステータス連動要因

【連動先について】

以下の連動先から設定可能です。

- ・移報 (F)
- ・外移報 (S)
- ・防排煙 (D)

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	運動先 ※最大32点まで
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	運動先 ※最大32点まで
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							

任意記載
各入力項目に記載した内容を記載してください。

No	回線 番号	設備区分	種別名称	状態文字	オプションメッセージ	階 情報	連動先 ※最大32点まで
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							